

フォーラム・アール ～これからを話そう vol.3

藤原辰史×黒沢聖覇 「21世紀の縁食空間 - これからの『食』とアート」

2023年1月21日(土) 14:00～16:00



食や農についての思想を研究する藤原辰史氏をお迎えし、
「縁食空間 × アート」を切り口に、私たちの食の未来を考えます。

イベント名	フォーラム・アール ～これからを話そう vol.3 藤原辰史×黒沢聖覇 「21世紀の縁食空間 - これからの『食』とアート」
日時	2023年1月21日(土) 14:00～16:00(開場13:45)
会場	金沢21世紀美術館 レクチャーホール
定員	70名(要事前申し込み・先着順)
参加費	無料
企画・聞き手	黒沢聖覇(金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)
申込方法	当館ウェブサイト申込みフォームにて12月21日(水)10:00より受付開始
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811 (火～日曜日、祝日10:00～18:00)



申込みフォーム

本資料に関するお問合せ 金沢21世紀美術館 広報担当:石川聡子・齊藤千絵・落合博晃(広報課)
事業担当:黒沢聖覇(学芸課)、木村健(交流課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<https://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



企画概要

コロナウイルスによるグローバル・パンデミックを経て、私たちの食のあり方は大きく変容しました。感染対策として最も^{やのたま}槍玉に挙げたのは、まさに私たちの身体と直接的に関わる食でした。またアート表現においても「食」はいま大きな関心と呼んでいます。このレクチャーでは、食や農についての思想を研究する藤原辰史氏をお招きし、パンデミックを経たこれからの「食」と私たちはどのように向き合っていくべきかを、歴史やアートの実践をもとにひもといていきます。

企画趣旨

食の分断や孤食が社会一般に浸透しつつある中、パンデミックの背景には、農業や畜産業が生み出した環境破壊によって、野生動物への接触や家畜を媒介とした感染が増えていることがあると指摘されています。科学技術の進歩によって、農作物や家畜など生産現場と食べることが切り離されてきた結果、私たち一人ひとりの毎日の「食」が、世界規模で起こる様々な社会問題や環境問題を引き起こしているとも言われています。このような時代において、食や農についての思想を研究する藤原辰史氏は、孤食か共食か、という二者択一にとらわれない「縁食」という新たな言葉を提示しています。私たちの食を支配する経済至上主義の中、「縁食空間×アート」という切り口を通して、袋小路に陥っている私たちの食の未来を美術館という場所から考える機会にしたいと思います。(黒沢聖覇)

講師プロフィール

藤原辰史(ふじはら たつし)

京都大学人文科学研究所准教授。1976年生まれ。専門は農業史、食の思想史。2006年『ナチス・ドイツの有機農業』で日本ドイツ学会奨励賞、2013年『ナチスのキッチン』で河合隼雄学芸賞、2019年日本学術振興会賞、同年『給食の歴史』で辻静雄食文化賞、『分解の哲学』でサントリー学芸賞を受賞。『カブラの冬』『稲の大東亜共栄圏』『食べること考えること』『トラクターの世界史』『食べるとはどういうことか』ほか著書多数。



2

企画・聞き手
プロフィール

黒沢聖覇(くろさわ せいは)

金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター。新しいエコロジー観と近現代美術の関係に関心を持つ。主な展覧会に、タイランドビエンナーレ・コラート2021(ナコンラチャシマ県各地)コ・キュレーター、「ZERO IS INFINITY『ゼロ』と草間彌生」(草間彌生美術館、東京)、第7回モスクワビエンナーレ「Clouds⇄Forests」(トレチャコフ美術館新館、モスクワ)アシスタント・キュレーターなど。ジャポニスム2018「深みへー日本の美意識を求めてー」(ロスチャイルド館、パリ)など、国内外の展覧会にアーティストとしても作品を出品。



3

フォーラム・アール
とは

フォーラム・アールでは様々な分野の専門家をお迎えし、世界にある「今」への新しい視点や考え方を学びます。各回で美術館の専門スタッフが聞き手となり、皆さんとともに「少し先の未来」との向き合い方を考える、伸びやかな学びと語らいの場を目指します。科学技術の進歩が社会を変化させ続ける中、また地球環境や社会システムの更新などに対応すべく、私たちはあらゆる分野で協調して対応しなければなりません。各回のトークを通じて、変化を理解し、仕組みや態度を調整、更新していく学びの機会とします。

今後の予定

vol.4 吉村正志 (沖縄科学技術大学院大学(OIST)「OKEON美ら森プロジェクト」コーディネーター)
地域社会と見つめる『生物多様性』—沖縄の陸域環境調査から—

日時：2023年2月11日(土・祝) 14:00~16:00 (開場 13:45)

会場：レクチャーホール

定員：70名(申込先着順、

1月11日(水) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料

企画・聞き手：木村健(金沢21世紀美術館エデュケーター)



4

vol.5 フランソワーズ・モレシヤン

(金沢21世紀美術館国外アドバイザー)

時代は変わる、ファッションも

日時：2023年3月4日(土) 14:00~16:00 (開場 13:30)

会場：シアター 21

定員：120名(申込先着順、

2月4日(土) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料



5

広報用画像

画像1~5を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報課へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム ▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。